

教科書編集部便り

本年も「掲示板」をよろしくお願い申し上げます。
一年間の学習のしめくりにあたるこの時期、先生方にはご多忙の日々をお過ごしのことと思います。

今回は、二年『雨の日と青い鳥』と、三年『新聞の特徴を生かして書く』を取り上げ、教科書教材のなかにある「こだわり」の部分について紹介いたします。なにげない小さな部分であっても、編集部は徹底的にこだわって教材作りをしています。

二年一単元『雨の日と青い鳥』について

『雨の日と青い鳥』という題名には、一文字の「技」が隠されています。「雨の日」と「青い鳥」を結ぶ「と」という言葉です。もし、これが「雨の日の青い鳥」なら……。それでも作中、豊海が拾う水色の小鳥に、名作「青い鳥」のイメージを重ねることは可能でしょう。しかし、「雨の日」の象徴性は、「と」で結ばれ、「青い鳥」と対比的に示されることにより、初めて明瞭に立ち上がるように思えます。

「雨の日」と「青い鳥」。家庭にある、ありふれたやさしいと、ささやかな幸せの象徴。作者・中沢けい先生は「と」という助詞で両者を均質につなぐことにより、「雨の日」を「青い鳥」と同様、愛すべきものとして描き出されたように思えます。育海が「また兄ちゃんといけんかをするのだろうな。」と思いつながらも、それを含めた家族の時間をまるごと受け入れていくように。

広報部便り

ホームページ「光村チャンネル」のご案内

「教科の部屋」「わたしの授業」のご案内

「光村チャンネル」では、先生方のご指導に役立つさまざまな情報を掲載しています。数あるコンテンツの中から、いくつかのコーナーをご紹介します。

「教科の部屋」の「中学校国語」には、教科書教材や言葉に関する事柄を中心に、授業に役立つ情報や、編集部に寄せられたご質問への回答などを数多く掲載しています。
リンク集も、大人向け、子ども（生徒）向けに分けて、教材ごとにご紹介しています。

また、会員専用ページ「光村コミュニティ」内の「わたしの授業」では、全国の先生方からのアイデア豊かな実践を、数多くご紹介しております。

現在掲載中のものに加えて、今後も日常の指導のご参考としていただける実践をご紹介します予定です。

わたしの授業 中学校 国語 3年			
学年	2学期	3学期	
1学期	2学期	3学期	
タイトルと教材名	教科	クラスの人数	
『未来にわたって』 — 『わたしの授業』と『未来にわたって』の出会い	20年	36人	
『未来にわたって』 — 『わたしの授業』と『未来にわたって』の出会い	7年	37人	
『未来にわたって』 — 『わたしの授業』と『未来にわたって』の出会い	4年	39人	
『未来にわたって』 — 『わたしの授業』と『未来にわたって』の出会い	10年	38人	
『未来にわたって』 — 『わたしの授業』と『未来にわたって』の出会い	3年	40人	

内容の要約という機能を果たしつつ、それでいて、それ以上の暗示を含む題名。読み解くヒントは「と」の一文字。これは、教室でみんなと読んでこそ発見できる仕掛けだと思いますし、生徒が日本語の豊かさや広がりにつくきつけにもなるのではないかと考えます。

三年書くこと『新聞の特徴を生かして書く』について

この教材に出てくる読み比べの新聞記事は、横浜市にある新聞の専門図書館「新聞ライブラリー」で探し出したものです。この図書館は、原紙はもちろん、マイクロフィルム、CD-ROMなどの形で過去の新聞を閲覧することができます。

「同じ出来事を扱った記事で、伝え方の違うもの」を探し出すために、過去五年間分にわたり、五社の新聞を一日ずつ丁寧に見ていくという気が遠くなるほど根気の必要な作業が始まりました。伝え方の違いがよく出ている出来事が見つかったも、政治に関する意見を述べた内容であったり、事件についての報道だったり、なかなか中学生にとって身近な記事は見つかりません。このようななかで三か月間通い続けて、やっと見つけ出したのが、教科書に掲載されている「桜の開花」についての記事です。

この教材を通して、生徒が新聞を読むときに、同じ出来事を扱った記事でも、視点の違いによって多様な伝え方や考え方がありということを実感してもらえればと願っています。

「学習指導要領」関連情報のご案内

「学習指導要領」関連情報を開設しました。文部科学省のホームページなどに直接リンクしています。新学習指導要領に関する情報をはじめ、中央教育審議会や文化審議会に関する最新情報をご覧いただけます。

また、「教育課程部会におけるこれまでの審議のまとめ」について、識者による解説」を掲載しています。ぜひご覧ください。

「光村チャンネル」トップページ <http://www.mitsumura-tosho.co.jp/>

ご意見・ご感想、取り上げてほしいテーマなどありましたら、ぜひ広報部までお寄せください。お待ちしております！

FAX 〇三(三四九三)五四八三

E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp

